

プジョー 208 R2、全日本ラリー選手権第5戦で2位表彰台を獲得  
 ～ 天候の変化にも安定した走行性能を発揮 ～

プジョー 208をベースとしたラリー専用車「208 R2」が、2017年全日本ラリー選手権第5戦「モンレー2017 in 嬭恋」に参戦致しました。路面コンディションが変化する難しいラリーを、ドライバーの柳澤宏至選手とコ・ドライバーの中原祥雅選手はミスなく走り切り、JN5クラス2位でフィニッシュしました。

第5戦は群馬県嬭恋村周辺のターマック路(舗装路)を舞台に、例年よりも2カ月ほど早い6月10日(土)～11日(日)に開催されました。プジョー 208 R2でJN5クラスを戦う「ラリープラス・クスコレーシング・ラリーチーム」の柳澤選手と中原選手は、約半年ぶりの実戦にもかかわらず、突然の雨によりライバルが足元をすくわれるなか、初日をクラス2番手で走行。2日目も安定したペースで走り切り、2位表彰台を獲得しました。

プジョー 208 R2 ドライバーのコメント

柳澤宏至選手(ラリープラス・クスコレーシング・ラリーチーム) JN5クラス 2位

「私にとっても、マシンにとっても、久々の実戦となりましたが、2位のポジションを守って走り切ることができました。初日はライバルの先行を許す場面もありましたが、天候が荒れたり、霧が出たりすれば、これまでの経験を活かして順位を上げることができます。特に濃霧となった初日後半のステージでは、コ・ドライバーの中原選手が読み上げるペースノートをしっかり聞いて、集中して走りました。プジョー 208 R2は昨シーズン1年間乗ってきたので、勝手知ったるということもありましたが、トラブルもなく安心してドライブできました。特にスムーズなコーナーが続くステージでは、プジョー 208 R2の高いコントロール性を活かすことができます。同じくドライコンディションとなった2日目のステージも気持ち良く走れました」

全日本ラリー選手権第5戦「モンレー2017 in 嬭恋」リザルト

クラス/クラス順位	ドライバー/コ・ドライバー	車両	合計タイム
JN5/1位	小濱勇希/馬場雄一	シトロエン DS3 R3-MAX	50:56.0
<b>JN5/2位</b>	<b>柳澤宏至/中原祥雅</b>	<b>プジョー 208 R2</b>	<b>51:37.6</b>
JN5/3位	大橋逸夫/木村裕介	MINI ジョン・クーパー・ワークス	55:35.7
JN5/4位	竹岡圭/漆戸あゆみ	アバルト 500 ラリー R3T	1:04:25.1
リタイア	川名賢/キャシー・デュロツソウ	シトロエン DS3 R3-MAX	—
リタイア	鷹野健太郎/ヤナ	MINI クーパース	—
リタイア	眞貝知志/安藤裕一	アバルト 500 ラリー R3T	—



ラリープラス・クスコレーシング・ラリーチーム: 中原祥雅選手(左) / 柳澤宏至選手(右)

## Press contacts

<http://www.peugeot.co.jp>

プジョー・シトロエン・ジャポン 広報室 TEL:03-5468-1311 [publicity@peugeot.co.jp](mailto:publicity@peugeot.co.jp)

一般からのお問い合わせ先 : プジョーコール TEL:0120-840-240

リリースダウンロード: <http://press.peugeot.co.jp>

資料・画像ダウンロード: <http://press.peugeot.co.jp/permitted/document/>

## PEUGEOT

顧客へのブランドのコミットメントは、爽快で情熱に満ちたドライビング、個性的なデザイン、そして妥協のない品質を示しています。これらの DNA は、プジョーの全てのモデルに注がれています。世界 160 カ国で 1 万を超える拠点を展開するプジョーは、2015 年世界販売において 4.6%アップの 171 万台に達しました。プジョーは世界へ向けて多彩な商品をもつ確固たるトップブランドを目指し、緻密なデザイン、スピード、そしてエキサイティングなフィーリングを融合しています。1889 年に始まったブランドに息づく自動車の歴史は、本年ダカールラリーにおける 3008 DKR の歴史的な 1-2-3 フィニッシュによって新たな栄誉を獲得いたしました。

## MOTION & EMOTION

プジョー・シトロエン・ジャポン 広報室  
PEUGEOT CITROËN JAPON CO., LTD.